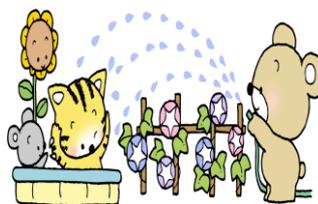


きこえ・ことばの教室だより

あくしゅ



所沢市立三ヶ島小学校
通級指導教室
2023. 7月
No.2

1学期の指導終了です！もうすぐ夏休み！

7月になりました。「きこえ・ことばの教室」では、毎年恒例の七夕の笹を飾りました。子どもたちや保護者のみなさんに短冊を書いていただいています。みんなの願いが叶いますように・・・！

「きこえ・ことばの教室」の指導は、7月7日で終了です。1学期の間、「きこえ・ことばの教室」へのご理解・ご協力をありがとうございました。夏休みには、宿題を出します。発音が課題のお子さんは、毎日少しずつ取り組んでくださいね！「継続は力なり」です。



巡回訪問、お世話になりました！

通級の指導は、お子さんが在籍している学校や日常生活で、自分らしさを発揮して過ごせることを目標にしています。そのために、私たち担当者は、1日のほとんどの時間を過ごしている学校での様子を把握し、担任の先生との連携を図っていきたくと思っています。

6月の初め、三ヶ島小「きこえ・ことばの教室」に通う吃音のある児童、難聴の児童の在籍校に伺い、授業参観と面談をさせていただきました。がんばっている姿を見たり、通級時とはまた違う一面を発見したりすることができました。担任の先生方には、大変お忙しい中、面談の時間の確保や時間割の調整等ご配慮していただき、ありがとうございました。今後の指導に役立てていきたくと思います。



第1回「グループ交流会」を行いました！

吃音のお子さんを対象としたグループ学習を年間4回計画しています。「グループ交流会」と「グループ学習会」それぞれ2回ずつ行います。グループ学習は、吃音のあるお子さんの仲間意識を育みながら孤独感や不安を軽減することを主なねらいとしています。

第1回目の「グループ交流会」を6月19日に行いました。今回は新しく4名のお子さんが加わりました。子どもたちが、体育館で「グループ交流会」を行っている間、保護者の方は別室で保護者同士の交流会を行いました。6年生の考えた遊びに大興奮の子ども達でした。保護者の方たちも、日頃の心配事やお子さんの様子などを和気あいあいとお話しされていて、親子共に仲を深めていました。



プログラム

- 1 はじめのことば
- 2 めあての発表「仲を深めて、みんなで楽しもう！」
- 3 ゲーム & 保護者交流会（別室）
 - ①めいしこうかんゲーム
～チームわけ・チーム名決定！～
 - ②しょうがいぶつケイドロ
 - ③アメリカンドッジ風王様ドッジビー
- 4 おしゃべりタイム「みんなどうしてる？」
- 5 感想発表
- 6 おしゃべりタイム



「グループ交流会」の感想を紹介します☆

【児童】

- ぼくは、はじめの言葉を言い、とてもきんちょうしたけど言えた。いろいろな子とたくさんしゃべったり、遊んだりすることができた！！お友だちと話す時間に（言いにくくて困る場面とかみんなに分かってもらえてうれしかった経験など）色々なことを話せた。グループ交流会がとても楽しかった。
- 初めて参加するけど、みんながやさしくしてくれたから楽しく遊べました。みんなが吃音を分かっているから言葉がつかまってもはずかしくないから気にしないでできました。
- わたしと同じ（吃音の）子がいるんだとわかりました。6年生のかんがえてくれたゲームが楽しかったです。

【保護者】

- 子どもは担当の言葉を言う時、少し緊張していた様子でしたが、しっかりとすることができていて良かったです。子ども達の名刺交換を見た後、保護者2班に分かれてコミュニケーションをとることができました。ことばの教室に入って良かったこと、同じ思いの方たちがいて安心したことなどの話ことができました。毎回思うのですが、子供以上に親の私自身がことばの教室に来てとても安心できています。先生、いつもありがとうございます。今日も交流会に参加し、本当に先生、子ども達、保護者の方に感謝です。
- 初めての参加でしたが、同じ吃音の子をもつお母さんたちと交流出来て良かったです。吃音と向き合い始めて、まだ悩みや不安があったのですが、他のお母さんたちの話を聞いて、勇気づけられることがたくさんありました。あっという間に時間が過ぎてしまい、話したりないぐらいで、次回の交流会も楽しみにしています。
- グループ交流会に参加させていただき、ありがとうございました。普段、あまり吃音の方と触れ合うことがなく、子どもも自分以外の吃音の子と遊ぶことが出来、「自分だけではない。」という安心感を持てたようです。吃音といっても、子どもによって、様々な症状があるのだなと勉強になりました。保護者の方の今までの経験を聞くことも出来、もっと話を聞きたかったです。
- 吃音を持つ子を持つ保護者同士で、他愛もなく吃音の色々な話を出来るということは、親としても吃音と向き合うことが出来るいい機会であると思います。吃音に対して前向きに考えられることは、こういう機会があるからこそだと思いました。